

## 建築総合科短期課程 Q & A

### Q. 短期課程訓練とは何ですか？

A. 離転職者を対象にした訓練期間 6 か月の職業訓練です。訓練時間は 700 時間です。

### 対 象

### Q. 応募資格はありますか？

A. 中学校卒業程度の学力を有し、就職を強く希望される方が対象です。早期就職(訓練修了後 3 か月以内)を希望されない方は、原則として受講できません。(訓練修了時から 3 か月後までの就職状況を把握するための調査があります。)

### Q. 中学校・高校の新卒者ですが、受講できますか？

#### 学校卒業後に職歴がありませんが、受講できますか？

A. 学校を卒業されたばかり(卒業見込みを含む)の方、あるいは職歴のない方でも、職業訓練を受けることで早期に就職されようとする方(求職中の方)であれば、受講の対象となります。

求職中であることが受講資格となりますので、住所を所轄する公共職業安定所にご相談ください。

### Q. 住所が静岡県(愛知県以外)ですが、受講できますか？

A. 県外の方であっても、受講に関する取扱いは県内の方と同様です。住所を所轄する公共職業安定所にご相談ください。

**Q. 建築に関連する学歴・職歴がありませんが、大丈夫でしょうか？**

A. いままでに受講された方は年齢や学歴・職歴も様々で、事務職や製造業など他の職種から転職しようと考えている方もいました。

今回の職業訓練では建築・住宅関連の技能を基礎から学びますので、学習意欲と住宅関連に強い関心を持ち続けていただければ、大丈夫です。

もちろん、過去に建築・住宅関連の学歴・職歴があり、この職業訓練を通じてさらに知識を広めて就職しようと考えている方も歓迎します。

また、年齢・職歴も様々な方が同じ教室・作業場で学び教え合うことで、新たな交流が生まれることも期待できます。

**Q. 女性でも大丈夫でしょうか？**

住宅インテリアコースでは、インテリアコーディネーターをめざす女性からの応募もあり、このところは、訓練生のほぼ半数が女性です。

住宅エクステリアコースでは、ガーデニング関連に関心のある女性も入校していただいています。

住宅の新築・リフォームを計画する時には、奥さんが家族全体の意見をリードすることも多く、女性スタッフによるきめ細かな対応や提案が期待される場面もあります。

**雇用保険**

**Q. 訓練期間中は、雇用保険などを受けられますか？**

A. 訓練申込み前に住所を所轄する公共職業安定所にご相談ください。

雇用保険の受給資格のある方又は受給中の方で公共職業安定所長の受講指示を受けて入校される方は雇用保険が支給され、基本手当のほかに、受講手当（上限500円×40日）及び通所手当（交通費：最高月額42,500円）が支給されます。（受講指示には一定の要件を満たす必要があります。）

受講指示以外の方で、一定の要件を満たし、公共職業安定所長の支援指示を受けて入校される方には、職業訓練受講給付金を受けることができる場合があります。

なお、「ハローワークインターネットサービス」というホームページでは、「雇用保険手続きのご案内」が掲載されていますので、参考にしてください。

## 見 学

### Q. 施設を見学できますか？

A. 短期課程の見学会は、7月下旬(10月期入校生向け)及び2月初旬(4月期入校生向け)に、期日を指定して開催しています。見学日時は本校ホームページにも掲載します。

この職業訓練に関心のある方は、ぜひ見学会にご参加ください。

見学会では、担当の指導員から訓練内容を説明するとともに、教室や実習場を案内します。

見学は随時受け付けていますので、事前に電話いただければ、見学日時を調整させていただきます。

## 募 集

### Q. 募集はいつ頃ですか？

A. 例年ですと、4月期入校生は1月初旬に、10月期入校生は7月初旬に募集を開始します。募集定員に達しない場合には、継続して募集することがあります。募集期間の少し前に、本校ホームページなどでそのつど公表しますので、ご確認ください。

### Q. 入校選考日はいつ頃ですか？

A. 例年、4月期入校生は3月初旬に、10月期入校生は9月初旬に、入校選考があります。継続募集がある時には、あらためて入校選考を行います。

### Q. 他の高等技術専門校と併願はできますか？

A. 他の高等技術専門校との併願はできませんが、本校に限定する場合には、住宅インテリアコースと住宅エクステリアコースの2科がありますので、入校願書に第1希望科と第2希望科を記述していただくことは可能です。

入校選考で所定の成績に達していたにもかかわらず、第1希望科が成績順で不合格となり、第2希望科で募集定員に満たなかった場合には、本人に確認のうえ、第2希望科で合格とさせていただきます。

**Q. 入校願書はどこにありますか？ 受付場所はどこですか？**

A. 入校願書は本校及び公共職業安定所にあります。本校のホームページからもダウンロードできます。

入校願書は、住所を管轄する公共職業安定所に提出してください。

**入校選考**

**Q. 入校選考はどんな内容ですか？**

A. 筆記試験と面接です。

**Q. 筆記試験はどの程度のレベルですか？**

A. 中学校卒業程度の学力があれば、解答できるレベルです。

**Q. 募集定員より応募人数が少なければ必ず合格できますか？**

A. 筆記試験及び面接の結果から判断して、不合格となる場合もあります。

**Q. 合格発表はどんな方法ですか？**

A. 合格・不合格にかかわらず郵送で通知しています。

**Q. 入校を辞退したいのですが、どのようにすればよいのですか？**

A. 原則、校が定める様式により合格辞退届を提出していただきます。合格辞退届の様式は本校に用意してありますが、ホームページからダウンロードもできます。

なお、辞退者が未成年の場合、保護者の方の記名、押印が必要です。

(普通課程、短期課程共通)

## 経 費

### Q. 経費はかかりますか？

A. 授業料は無料ですが、教科書等の経費として約2万円が必要です。

### Q. 制服はありますか？

A. 制服はありませんが、実習訓練が多いため、各訓練に合った作業服を各自で用意していただきます。新品でなくてもお手持ちの作業服（訓練するうえで特に支障なければ）でもかまいません。

## 通 校

### Q. 最寄り駅はどこですか？

A. JR飯田線「三河一宮」駅です。駅から線路沿いに徒歩20分です。

### Q. 公共交通機関を利用する際、学割は適用されますか？

A. 短期課程訓練では、「学生割引」の適用はありません。定期を購入される場合には、「通勤定期」となります。

### Q. 自転車・バイク・自動車に通うことができますか？

A. 学校内には訓練生用の駐輪場と、広い駐車スペース（無料）があります。バイク・自動車通勤を希望される場合は、運転免許証と自動車の任意保険証加入確認のうえ、車両通校を許可します。

## 訓 練

### Q. 訓練時間はどのようになっていますか？

A. 午前9時から午後4時30分までです。（土・日・祝日は休日。）

1日の訓練時間の区分は、午前が50分授業を3コマの学科、午後は100分授業を2コマの実技です。

また、4月期入校生には夏休み、10月期入校生には冬休みがそれぞれ約2週間あります。

**Q. 訓練内容はどのようなものですか？**

A. 住宅インテリアコースと住宅エクステリアコースの共通科目として、建築概論、建築法規、建築製図、安全衛生などの住環境に関する総合的な基礎知識を学んでいただきます。

また、木造住宅の設計に必須な製図法とCADの基本操作を習得していただきます。

**Q. パソコンに触ったことがありませんが、大丈夫でしょうか？**

A. パソコン操作の第一歩であるマウスの動かし方から説明しますので、大丈夫です。ただ、あらかじめ市販の本などでパソコンの操作方法などを読んでおいていただければ理解が早まると思います。

**Q. 日々の訓練において、自宅での予習復習はどの程度必要ですか？**

A. その日の訓練で学んだことを自宅で復習すればよく身につくと思います。特に学科の科目では、記憶しなくてはならない内容が多くありますので、反復して覚えることが大切です。予習については通常、特に必要はありません。(普通課程、短期課程共通)

**Q. 訓練中に試験があるのですか。試験に合格しない場合、修了はできないのですか？**

A. 習得度を確認する意味で試験を行っています。試験の結果、習得度が低ければ補講などを受講してもらいます。通常、試験の結果のみで修了ができないということはありません。(普通課程、短期課程共通)

**Q. 昼食は給食などがあるのですか？**

A. 給食はありません。昼休みに校外に出ることはできませんので、弁当を持参するか、業者が配達する弁当（1食350円）を購入してください。飲み物については、校内に自動販売機が設置してあります。

(普通課程、短期課程共通)

## 就 職

### Q. 建設業の雇用状況はどのようなのですか？

A. 建設業界は、就業者の高齢化・減少が進行しています。人手確保は深刻な問題で、建設関連の有効求人倍率も高くなっています。

特に、女性の就業促進に向けて、国土交通省及び建設業団体では、女性技術者・技能者を5年以内に倍増する目標を掲げ、「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」としてまとめています。

### Q. 就職はどのように支援を受けられますか？

A. 公共職業安定所で定期的に発行している求人一覧表を校内に掲示して、常に新しい求人情報の提供に努めています。

ハローワーク求人情報オンラインシステムが本校のパソコン室のパソコンに導入されており、ハローワークの求人検索機と同等の求人情報を校内で簡単に入手できます。

本校では無料職業紹介を行っており、企業から直接求人票を受け付けて、訓練生に閲覧し、紹介状を発行しています。

また、ジョブ・カード制度を活用した就職支援も行っています。訓練生に様式1〔キャリアプランシート〕、様式2〔職務経歴シート〕、様式3〔職業能力証明シート〕の記載方法をアドバイスするとともに、指導員及びキャリアコンサルタントによるキャリアコンサルティングも訓練期間中に実施しています。

訓練修了の1か月前には就職希望調査を行っており、訓練生は公共職業安定所に出向いて個別相談を受けていただきます。

## 修了生の声

○先生のアドバイスなどで修了生のいる企業へ就職が決まりました。雰囲気の良い会社なので、これから頑張っていきたい。

○分かり易い授業でなんとか訓練についていけました。とても助かりました。

○入校のパンフレットの内容だけでなく、実際入校してみると色々な知識や技能を教えてください自分の就職する分野の幅が広がりました。実技では、得意な分野の発見ができ、自分の自信にも繋がって次の就職へのアピールポイントになると思っています。自分の周りの人にも自信を持って勧められる良い学校だと思いました。

○住宅インテリアについて、今まで全く経験のない私でも修了時には幅広い分野について、基礎の基礎、初歩の初歩だと思いますが知識と技術を身につけることができました。これほど充実した6か月は、今まで無かったと思います。友人・知人からこの学校のことを聞かれた時には、おすすめしたいと思います。



## Ⅲ-1 住宅インテリアコース

### Q. 具体的にどのようなことを学ぶのでしょうか？

A. 住宅インテリアとは、ここでは住宅の内装及びそれに付随するインテリア家具を含みます。

住宅インテリアコースでは、住環境の総合的な基礎知識を学ぶとともに、小箱の製作を通じて大工道具の使い方を始め、床仕上げやクロス貼りなどの内装作業、木造住宅の設計製図、建築CADの操作方法、住宅模型の製作、パワーポイントを活用した発表技法などを学びます。

本校ホームページの「東三河専門校通信」に、毎月の訓練風景を掲載していますので、参考にしてください。

### Q. 具体的にどのような資格が取得できますか？

A. 在校中に、丸のこ等取扱い作業従事者教育を行い、校内での試験に合格すると、修了証を交付します。

また、在校中に高齢者や障害者に対して住みやすい住環境を提案するアドバイザーである「福祉住環境コーディネーター」2級の受験を勧めており、その資格取得を目指します。

そのほかDIYアドバイザー、CAD検定試験、インテリアコーディネーターなどの資格取得を目標としています。

様々な資格の取得は、職業訓練中の努力の証として就職時に一定の評価が得られます。

### Q. 具体的にどのようなところに就職できますか？

A. 活躍が期待される就職先としては、工務店、住宅販売会社、設計事務所、インテリア販売店、内装業などです。

福祉住環境コーディネーターの資格取得が評価されて、住宅・建築分野以外の職種に就職された方もいます。

## Ⅲ-2 住宅エクステリアコース

### Q. 具体的に、どのようなことを学ぶのでしょうか？

A. 住宅エクステリアとは、ここでは住宅の外装及び住宅を取り巻く環境整備を含みます。

住宅エクステリアコースでは、住環境の総合的な基礎知識を学ぶとともに、建築板金や壁塗りなどの外装作業、木造住宅の設計製図、建築CADの操作方法、そのほか環境整備として庭木の剪定やブロック積み、レンガ敷きなども学びます。

本校ホームページの「東三河専門校通信」に、毎月の訓練風景を掲載していますので、参考にしてください。

### Q. 具体的にどのような資格が取得できますか？

A. 在校中に、ガス溶接技能講習、アーク溶接特別教育、丸のこ等取扱い作業従事者教育を行い、校内での試験に合格すると、修了証を交付します。

玉掛け技能は荷物を運搬する作業では必須となる資格で、建設現場など様々な場面で役立つ資格の一つです。

### Q. 具体的にどのようなところに就職できますか？

A. 活躍が期待される就職先としては、外構施工、機械加工、左官工、造園業、工務店などです。

住宅エクステリアコースでは、様々な施工作業を行いながら技能取得ができますので、その中から自分の得意分野を見出して、それを就職面接時に強調して就職につなげていただければと思います。

ガス・アーク溶接技能は機械加工メーカーでも役立ちますし、樹木剪定技能は庭木のある一般の会社でも役立ちます。